

おひさまだより

園長 免出 智美

あけましておめでとうございます。みなさまおそろいで新しい年をお迎えのことと存じます。お正月休みが明け、子ども達の元気な笑顔に気持ちも新たに新年のスタートを迎えることができました。本年も、職員一同、こどもたち一人ひとりを大切な存在とし成長を見守りながら、一日一日を大切に過ごしてまいりたいと思います。

1月行事予定

月	日	曜	行事予定
1	6	月	保育始め お正月遊び
	10	金	鏡開き
	14	火	個人懇談（ひかり組以外）2/22まで 身体測定（乳児組）
	15	水	園庭開放（未就園児）雪遊び（ひかり組）
	16	木	身体測定（幼児組） リズム会リハーサル（0・1歳児）
	17	金	リズム会リハーサル （2・3・4・5歳児）
	18	土	保護者交流会（乳児組）
	21	火	雪遊び予備日（ひかり組）
	23	木	リズム会全体リハーサル（全園児）
	25	土	保護者交流会（うさぎ組）
	29	水	園庭開放

お弁当の日：11日、25日

※変更の場合あり

日本の伝統行事（お正月）

社会の変化の中で、正月の文化も、継承されなくなってきています。餅つきや鏡開き、門松作りなどの伝統文化を園生活の中で経験できるよう大切に取り組んでいきます。また、1月は正月遊びも経験していきたいと思います。



不適切なかかわり「マルトリートメント」

12月の職員会議では、「不適切保育について」話し合い「子どもを一人の人として尊重するために」「子どものありのままを受け入れるために」など様々な視点から保育のプロとして保育を見つめなおす時間となりました。。



子どもの脳は成長しやすく傷つきやすいと言われていています。子どもの脳は柔らかくて知識をどんどん吸収します。だからこそ、マルトリートメント（不適切な養育）を受け続けると、脳は傷ついたり変形したりしてしまいます。子どもが人に向かって物を投げた時に、「相手に怪我をさせるからダメ」と教えるのは躰といえるでしょう。一方で、「あなたはなんて悪い子なの」と怒ることは人格を否定する言葉の暴力でありマルトリートメントとなり、「自分は悪い人間なんだ」と思い込み子どもの心を大きく傷つけてしまいます。では、**健やかな脳の成長のためにはどうすればいいのでしょうか？**目を合わせて触れ合うスキンシップはとても重要です。傷ついた脳は癒すことができると言われています。親に愛されているという安心感さえあれば、学校などの外の世界で失敗しても、くじけることなく困難を乗り越えられます。～【引用・参考文献】脳を傷つけない子育て 友田朋美～



お知らせ

*近藤保育士が、
12月26日に入籍
いたしました。
新姓は二反田になり
ます。

ドキュメンテーションから抜粋

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気づき」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。



どんぐり（0歳児） 「歩くの楽しい！」

歩きが安定し歩くことが楽しいこの時期。持って歩くとついてくるブルトイが更に歩く楽しさを感じさせてくれます。自分が向かうところに一緒に動く、動くたびにカラカラとなる音などの楽しさを五感で感じながら身体を動かす楽しさも感じています。

たけのこ（1歳児） 「いちばんのり！」

廊下から築山の様子を見ていた子ども達。「もういいかい?」「もういいよ～」に元気いっぱい築山に向かって走り出しました。「たのしそう!」「登ってみたい」などやりたい気持ちが膨らみ、遊びの世界も広がっていきます。新しい築山で、「たのしい!」「おもしろい!」がいっぱいの日になりました。



りす（2歳児） 「木の中に虫はいるのかな？」

木の中身に虫が潜んでいるのではないかと自分たちで掘れる木を探し始めます。自分たちで木の中を探索してみても葉っぱや土しか入っていないことに気が付いていましたが、「あっちの木の中に入るんじゃない!」と新しい木を探して中身を見ようとしていました。なんだろう?こうかな?と疑問を持ち試行錯誤する経験は大切にしていきたいですね。

うさぎ（3歳児） 「落ち葉の山づくり」

自然物に触れる目的をもってグリーンベルトに散歩に行きました。大量に落ちている葉っぱを見つけると”プールにしたい”や”ベットにしたい”など子どもたちの発想で遊びが展開していきます。集団での楽しさを味わいながら一つの遊びを友だちと実行する面白さや達成感を感じています。



そら（4歳児） 「登ってみよう！」

朝、部屋で遊んでいると虹を発見!「どうしてお部屋の中なのに、虹があるの?」と考えています。カーテンを閉めたり開けたりしながら、太陽の光で虹が出ることを予想したり、ゆらゆら虹が揺れていることから「もしかして水筒の水?」と水筒を動かしたりしながら好奇心が高まり不思議さや発見の楽しさを味わっています。

ひかり（5歳児） 「柚子の虜」

ゆずについて知っていることや、やってみたいこと、作ってみたい物を意見あっています。今日はゆず湯を通して匂いや、寒い冬ならではの柚子湯を楽しみました。「本当にお風呂に入ったぐらいポカポカする!」「ゆずってすごいね!」と自然への興味関心、文化を知るきっかけにも繋がっていますね!次は柚子のどんな魅力を見つけてくれるのか楽しみです!

